

10:20	-	10:30	開会あいさつ	
10:30	-	10:50	事例1	運転・製造部門
TOTOサニテクノ株式会社			L615袖ツバ素地不良の低減	
中平 史穂	中津衛陶製造部	製造第一課	乾燥品における表面の凹凸などの素地不良の低減をテーマに掲げ三現主義にて、作業場の明るさに着目、従来の基準を変更し検証を行うことで、完結出来た。確実に成長を遂げたサークルの軌跡の事例を発表する。	
10:50	-	11:10	事例2	工務・保全部門
旭化成株式会社			TOC計信頼性向上	
井上 真之介	愛宕事業場 延岡第一設備技術部	第一計装技術課	工場排水のBOD監視を目的にTOC計を2台設置している。当該計器は①塩詰まり②水綿混入③燃焼管詰まりの3つが原因で低信頼、高負荷設備(指示不良:1回/1日 製造Co-Mo:270Hr/年)であったが、3つの設備改善により高信頼、低負荷設備(指示不良、製造Co-Mo:0/年)を達成した事例を発表する。	
11:10	-	11:20	(休憩)	
11:20	-	11:40	事例3	工務・保全部門
株式会社トクヤマ			発電設備ベルトコンベア蛇行改善	
多田 優輝	徳山製造所 エンジニアリングセンター 設備管理グループ 動力チーム		発電設備で燃料をベルトコンベアで搬送し、ボイラーで燃焼している。当該設備での燃料搬送時に発生したベルトコンベアのベルト蛇行について対策を講じた事例を発表する。	
11:40	-	12:00	事例4	その他
日立造船株式会社			社員食堂へのオンライン予約システム導入による喫食数管理効率化	
武田 航	有明工場 管理部	総務・人事グループ	紙のカードを用いて食事の予約管理を行っていた社員寮の食堂にオンライン予約システムを導入し、集計の簡略化や食材の廃棄量減少を図るとともに、いつでも・どこでも予約可能とした事例を発表する。	
12:00	-	13:00	(昼休憩)	
13:00	-	13:20	事例5	工務・保全部門
マツダ株式会社			トランスミッション性能検査装置のインバータ故障撲滅	
木本 貴幸	防府工場中間地区 パワートレイン工務技術グループ	工務係	トランスミッションの性能検査装置で使用されているインバータが2年周期で故障し、工場の稼働を阻害して補修コストが悪化していた。6ゲン主義に基づいた原因追究を行い、保全部門と製造部門が一体となって故障を撲滅した事例を発表する。	
13:20	-	13:40	事例6	工務・保全部門
東ソー株式会社			タブレット活用による設備管理業務の負荷低減	
瀬島 史也	南陽事業所 設備管理部	部長付(工務第三課)	設備管理業務において、事務所と現場の業務両立や情報共有のための移動/印刷/配布の負担が多い。そこで、タブレットを導入し、事務業務の遠隔化/資料の電子化/動画撮影による大幅な工数削減及び工事品質の向上を図った事例を発表する。	
13:40	-	13:50	(休憩)	
13:50	-	14:10	事例7	生産技術部門
UBE株式会社			UBEグループにおけるデータ活用の取り組み	
山田 幸治	生産・技術本部 生産技術部 デジタル技術グループ	主席部員	弊社ではスマートファクトリー化を推進しており、データ収集から活用まで幅広い技術開発を行っている。その中で、予防保全への適用が期待されるプロセス異常検知手法と社内での適用事例を発表する。	
14:10	-	14:30	事例8	運転・製造部門
徳山積水工業株式会社			第1工場廃液設備トラブル撲滅	
山崎 陵	ポリマー製造部	ポリマー製造課	大きなロスに直結する廃液設備トラブル。移送ポンプが原因であることを発見したが、改善案が出てこない。メンバーの閃きから、ポンプを改善するのではなくポンプを使わない発想に転換。結果、トラブルの撲滅に至った事例を発表する。	
14:30	-	14:40	(休憩)	
14:40	-	15:00	事例9	工務・保全部門
昭和電工株式会社			デコーキングライン更なる設備信頼性向上に向けた取り組み	
篠原 恭平	大分コンビナート 工務部 工務二グループ		エチレンプラントでは過去から分解炉デコーキングラインのエルボ部に洩れが頻発していた。そこで、2014年から分解炉デコーキングエルボ内面の摩耗対策品として様々なエルボを採用し、設備信頼性向上に向け取り組みを開始した事例を発表する。	
15:00	-	15:20	事例10	工務・保全部門
トヨタ自動車九州株式会社			床裏ロボット品質不具合低減と流出防止への挑戦	
吉村 政則	宮田工場 塗装部塗装設備課		工場立ち上げ当初から懸案事項となっていた床裏ロボット品質不具合の発生と品質不具合車両の連続流出に対し、低減に繋がった地道な改善活動と連続品質不具合及び後工程への流出防止に向けた改善活動の事例を発表する。	
15:20	-	15:30	(休憩)	
15:30	-	16:10	特別講演	
株式会社高田工業所			「人材育成と次世代への技能伝承」 - ICT を活用した生産性向上と技能伝承について -	
荒井 岳彦	技術本部 エンジニアリング部長		モノづくりの会社として人材育成は重要テーマである。当社の長年の取組みとして、新社員早期育成のための『全社共通基礎技能教育』、若手のモチベーションを高める『技能オリンピック全社大会』などを紹介する。併せて、昨今の取組みとして、ICT を活用した現場工事の効率化や技能伝承の取組み事例を発表する。	
16:10	-	16:30	第50回全国設備管理強調月間(2022年度)記念企画のご紹介	
16:30	-	16:45	審査結果発表(優秀改善賞・奨励賞)、開会あいさつ	